

1. 本県周辺海域の概況(図1, 6/7現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行型のC型で推移しています。黒潮本流は、5月下旬まで犬吠埼沖を東方に流去していましたが、現在の黒潮は犬吠埼を接岸傾向のまま北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39.5° 東経142.5° 付近(岩手県沖)にあります。親潮の面積は平年並です。また、親潮第一分枝に連なる冷水が鹿島灘沿岸まで南下しています。

2. 海洋観測結果(6/4～6: 調査船「いばらき丸」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。表面水温は、会瀬沖で15.6～23.4℃, 大洗沖で15.8～23.3℃, 鹿島沖で15.2～23.1℃, 犬吠埼沖で16.6～24.2℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、黒潮流路が立ち上がるように流路変動したため、本県沖合では大幅に昇温(+1～+9℃)しました。また気温の上昇に伴い、海面水温も広い範囲で昇温(+1～+5℃)しました。一方、鹿島定線の沿岸下層では、冷水が南下した影響により降温(-3～-1℃)しました(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると、表層では沿岸で平年並、沖合で高め基調(+1～+3℃)となりました。下層(50m深以深)では黒潮流路を除いて低め基調(-3～-1℃)となりました(図8～9, 図16～17)。
- ・潮流の特徴として、沖合では黒潮本流の北東への強い潮流(2～4ノット)がみられました。沿岸域(特に会瀬・大洗沖)ではやや強い逆潮(0.7～0.9ノット)がみられました。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行型のC型で推移するでしょう。今後、黒潮の蛇行部が犬吠埼沖を東進するため、本県沖での黒潮流路は北東～東方で大きく変動するでしょう。
- ・親潮の面積は平年並で推移し、親潮第一分枝の先端は北緯39° 東経143° 付近(岩手県沖)まで南下するとみられます。よって、本県沖では下層(50m以深)を中心に冷水の影響がしばらく続くでしょう。
- ・水温を平年と比べると、本県沿岸では「低め～平年並」で推移するでしょう。

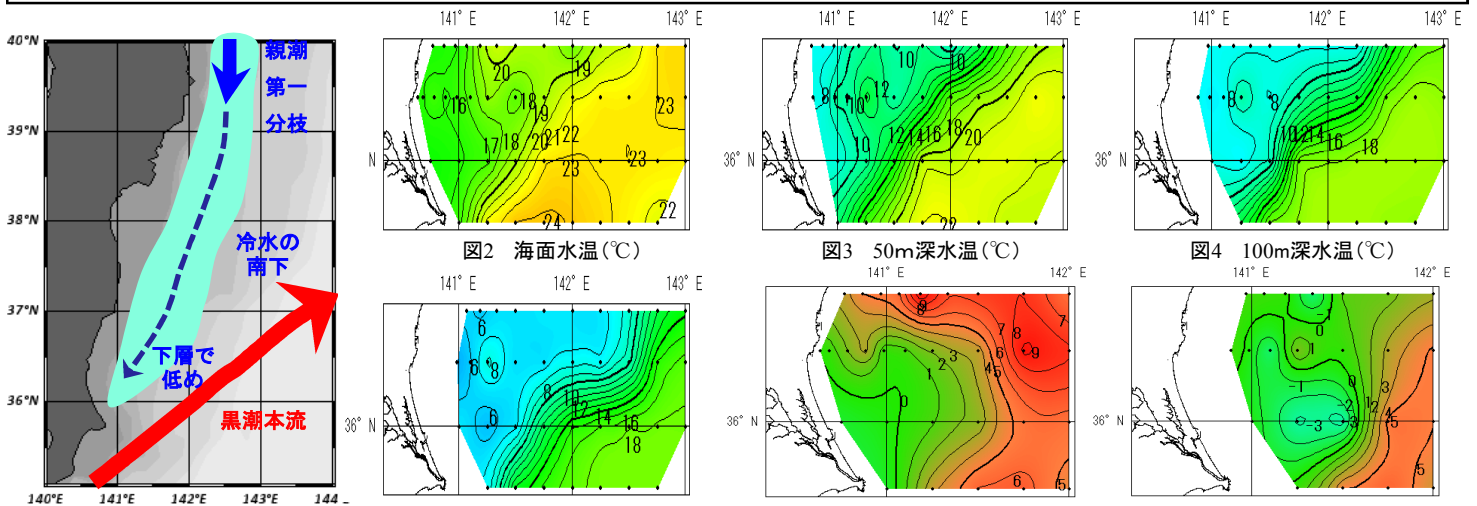


図1 海況の概要 (6月7日現在)

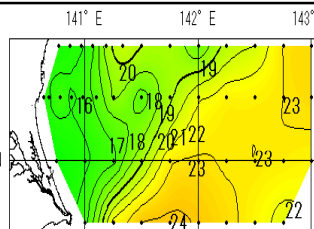


図2 海面水温(°C)

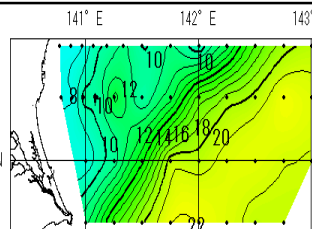


図3 50m深水温(°C)

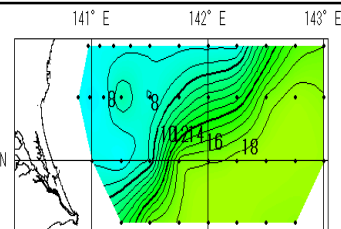


図4 100m深水温(°C)

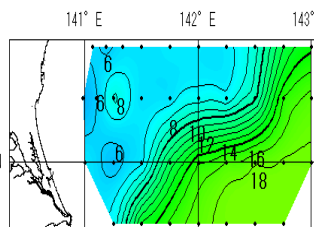


図5 200m深水温(°C)

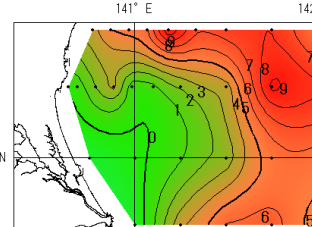


図6 海面水温前月差(°C)

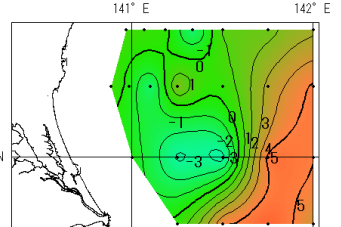


図7 100m深水温前月差(°C)

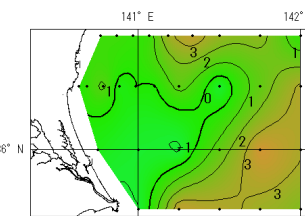


図8 海面水温偏差(°C)

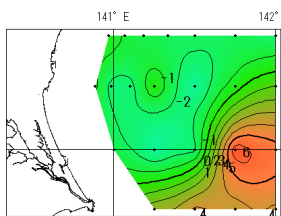


図9 100m深水温偏差(°C)

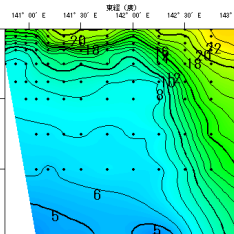


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

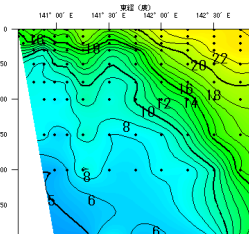


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

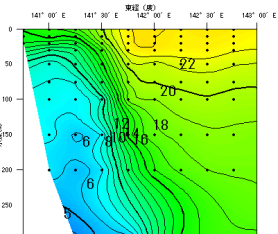


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

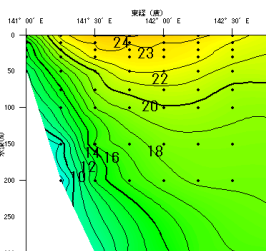


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

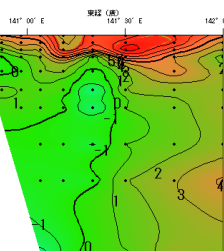


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

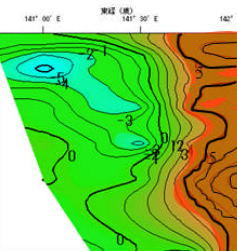


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

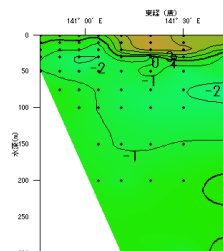


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

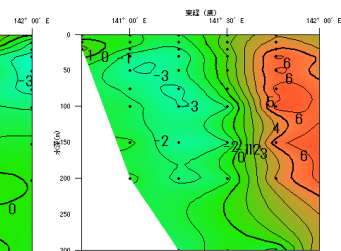


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)